

滝小だより



2024年(令和6年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば:「よく考える子」

○こころ:「思いやりのある子」

○こうどう:「ねばり強い子」



学校教育目標の見直しをしました

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』 (3つの「こ」)



私たちは、滝の沢小学校の子どもたちを「はち切れんばかりの明るさと素直さ、人懐っこさが魅力」ととらえています。また、のびのび過ごせる校風もよさの一つだと思っています。それでも、毎年職員から聞こえてくるのが「自己肯定感の低さ」です。このことは、何も滝の沢小学校の児童に限ったことではないかもしれませんが、何とかしたい思いが強くなります。そこで、今回3つ目の目標を『こうどう:「ねばり強い子」』に見直しました。やり遂げたとき、努力して結果が出たときの満足感を味わわせる教育活動を繰り返し行っていくことで、子どもたちは自信をつけ、自己肯定感を高めることができるのではないかと考えました。これまでの『からだ:「明るく輝く元気な子」』もよいのですが、1つのキーワードとして考えたとき、どんな場面でも目指せるかという点を決してそうではありません。むしろ、ことば・こころ・こうどうの3つの「こ」が相互に絡み、響き合い、それぞれの目指す姿に近づいたとき、「明るく輝く」のではないのでしょうか。また、頭文字を全て「こ」にそろえたことも子どもたちにとってなじみやすいと考えています。私は今年度、子どもたちの前で話す機会があれば、必ずこの3つの「こ」を意識させますし、担任の中には学級だよりで3つの「こ」を取り上げるかたちで内容を書いている先生もいます。そこで、ご家庭でも3つの「こ」を意識させてはいただけないでしょうか。学校と家庭で同じ思いで子どもたちを育てていくことで相乗効果が期待できます。ぜひよろしくをお願いします。

滝の沢小学校 めざす子ども像 3つの(こ)

ひびきあう ことば・こころ・こうどう

よく考える子

ねばり強い子



思いやりのある子

主体的に学習に取り組む態度 (6年体育大会を通して)

選手宣誓を耳にする機会がありますか。お子さんやご自身で何かの大会に出場している方はあると思いますが、そうでない方はなかなかないですね。ただ、その中で甲子園の選手宣誓だけはニュースにもよくなっています。私は小さい頃友だちと、「宣誓、我々選手一同はスポーツマンシップに則り、正々堂々と戦うことを誓います」なんて言ってた覚えがあります。しかし、いつからかこのようないわゆる定型文の選手宣誓は少なくなり、メッセージ性を含んだ宣誓、スピーチが増えてきました。さて、今年度の市内小・特別支援学校体育大会では、本校6年生児童が選手宣誓を行い、自分の今の思いを千人以上はいる会場で力強く堂々と伝えました。このような場で選手宣誓をするだけでもすごいことなのに、しっかりと声で会場全体に語りかけるスピーチはとてすがすがしく、会場内の他の小学校児童も「滝の沢小すげえ」と感じたはずです。その選手宣誓の内容を紹介します。

わたしは、今日の体育大会に向けて、個人種目と団体種目のどちらにも目標をもって全力で練習してきました。「走り高跳びでは今までのベストを出すこと」「400mリレーでは、バトンパスをスムーズにやること」です。わたしは、目標をもつことが何よりも大切だと思います。一番になれなくても、目標達成できたのならそれでいい。目標を達成しようとかがんばったならそれでいいと思います。きっと、ここにいる全員が何かしら目標をもっていると思います。…（中略）… 何でもいいので、今日はみんな目標をもって、その目標を達成できるように全力でがんばりましょう！ みんなで最高の大会にしましょう！！

大人や指導者は結果を求めがちですが、今は、いかに子どもたちが主体的に取り組むかということが大事になっています。やらされることよりも、子どもが主体的に取り組むことで成長するということが分かっているからです。下線部のあたりを子どもたち自身で感じられたら大成功です。ところで、見出しにある「主体的に学習に取り組む態度」、こちらもどこかで見覚えがありませんか。まだ、見る機会のない方もいらっしゃるかもしれませんが通知票です。通知票の項目にこれがあります。ここでは、評価の仕方ではなく、主体的に学習に取り組むとはどういうことなのか、宣誓文を例に書こうと思います。まず、大事なことは自分なりの目標をもつことです。今回、おそらく滝小6年生のほとんどの児童が、これができたと思っています。そして、目標を立てたら目標に向かってがんばることが大事です。これもできています。ただ、ポイントはその後です。昔でしたら目標に向かって与えられた練習メニューをひたすら繰り返しがんばる。もちろん、これで目標は達成できるかもしれませんが、しかし、それでは「疲れたからもういいや」という感情が残ることがあります。また、達成できないときは、「せっかくがんばったのに…」「〇〇がやれと言ったから」という感情が残ります。そこで、今求められていることは、目標に向かって粘り強く取り組むだけでなく、自分なりの解決方法をもつことです。まずはやってみて、その方法でうまくいかなかったら、どこがいけないのか考えたり、別の方法を考えたりして、自分なりにうまくいくよう調整します。このことは何もスポーツや勉強だけではなく、いろいろな場面でも同じことが言えます。将来、自分のやりたいことが見つかったとき、こうした学び方をしてきた子は強いと思います。今回の体育大会に向けての練習はどうだったでしょう。振り返りをしたときに、「あのとき、こうやってみたのがよかった」、もしくは次に向けて「こうしてみよう」など、具体が分かっていたら最高です。こういう子を増やしていきたいと学校は考えていて、そういう指導をするよう心がけています。今回のような宣誓を聞くと教師も児童もがんばっている、と感じずにはられません。親が子どもにレールを敷いてあげたい気持ち、すごくよく分かります。そこに、「子どもが自分でやった気に」させるという視点を加えて子育てをすると、子どもは失敗したときに誰かのせいにするのではなく、自分で困難を乗り越えていけるようになっていくのではないのでしょうか。

お知らせとお願い

◆風水害時の連絡メールについて

今年度に入り、登校時に大雨が降りそうな日に2回連絡メールを流しました。ただ、基本的には、通常通りの登校となる場合は連絡メールを流しません。詳細は年度当初に配付しました「緊急・災害時の対応について」（クリーム色）をご覧ください。警報が出るような天気が予想されるときは保護者のみなさまで、前日から天気予報で警報の発出状況をご確認ください。また、連絡メールが届いていないかご留意ください。

◆第1回学校評議員会がありました

学校評議員及び学校評価委員のみなさまには、学校教育目標や現在の学校の様子をお伝えした上で、実際に校内を回っていただきました。ここでは、主なご意見を紹介させていただき、今後職員と共有し共通理解を図ったことを後日、紙面にて報告させていただきます。

- ・子どもが、参観者がいても落ち着いて学習に取り組んでいた。
- ・子どもたちが素直、表情が明るい。
- ・子どもたちの自主性が年々備わってきている。さらに、友達同士でのサポートが自然とできる環境になっている。
- ・学校、特に学級担任とは「何かあった」ときではなく、普段から保護者に見てもらえる機会を設け、関係をつくってもらいたい。
- ・教室によっては暑く感じる場所があり、換気や水分補給が気になった。
- ・最近、上履きの汚れが激しく、校内清掃について気になっている。
- ・建物の築年数による劣化が目立つ（特に壁など）。



6月行事予定



日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
1	土		16	日	
2	日		17	月	
3	月		18	火	先生の研究会のため午前授業 八ヶ岳野外体験教室1日目 SC
4	火	4年遠足 SC	19	水	八ヶ岳野外体験教室2日目 6年郷土資料講座
5	水	クラブ活動	20	木	SC
6	木	SC	21	金	
7	金		22	土	ポイ捨てなくし隊(9:00)
8	土		23	日	ニュースポーツ研修(ラダーゲッター・シャッフルボード:9:00 体育館)自由参加
9	日		24	月	
10	月		25	火	あいさつ運動(~27日) SC
11	火	集会 5年八ヶ岳前検診 SC	26	水	委員会活動
12	水	クラブ活動	27	木	
13	木	代表委員会	28	金	
14	金		29	土	
15	土		30	日	

7月の主な予定

個人面談 8(月) 10(水)~12(金) 16(火)

給食終了・6年修学旅行説明会 17日(水) 終業式 19日(金)

7月
20日
から

夏休み

